



7月の和名は、「文月(ふづき・ふみづき)」です。



文月の由来や語源は諸説ありますが、「文被月(ふみひろげづき、ふみひらきづき)」が短くなって「文月」になったという説が有力のようです。「文被月」は、「文(ふみ)を広げて晒す月」という意味があり、7月7日の七夕に短冊に願い事や詩歌を書いて笹に飾る風習を指しています。

7月は、梅雨が明けて、いよいよ暑さが本番となってくる季節です。海や山も本格的なシーズンになります。暑さが好きな方も苦手な方もいらっしゃると思いますが、安全に注意を払いながら、楽しい季節を味わいたいものです。



【七夕の笹飾り】

七夕といえば、織姫と彦星が、1年に1度だけ会うことができるというロマンチックな星物語が有名な日です。子どものころに、飾りを作ったり、願い事を書いた短冊を笹に飾ったりした方も多いのではないのでしょうか。古来、笹は常緑で生命力があり天に向かって伸びるため、神聖なものとして捉えられ、神事にも使われてきました。七夕の笹は神様の依り代なので、願いをこめた飾りものをつるし、願いが叶うように天に向けて掲げていました。



「七夕飾りに込められた願い」

折鶴(千羽鶴)⇒みんなが元気でありますように 長生きできますように

吹き流し⇒織姫のように機織りが上手になりますように (魔除けの意味もあります)

網飾り⇒豊作満作大漁になりますように

財布(巾着)⇒お金がたまりますように

神衣・紙衣⇒裁縫の腕が上達しますように 着るものにこまらないように
(病気や災いの身代わりになってもらう意味もあります)

短冊⇒願いがかないますように 字が上達しますように

くずかご⇒整理整頓、物を粗末にしない儉約の心を育めますように



※飾りの意味を知って楽しむのもいいですね！

ふるさとコーナー ～天然記念物編～



【大村のイチイガシ天然林】

雄ヶ原町

(国指定天然記念物 昭和56年1月24日 指定)



この天然林は、多良山系の裾野、海拔230～300mほどのなだらかな起伏のある丘陵地にあり、幸い保安林として伐採されずに残ったものです。

この天然林の主な木はイチイガシで、ほかにコジイ・イスノキ・ヤマビワ・シイモチ・クロバイ・ミミズバイ・ヒサカキ・オガタマノキなど、たくさんの種類の

木々が密生し、一大樹林を形成しています。その広さは、22万㎡、その喬木数は多数におよびます。大村地域には、カシの木が多く見られ、イチイガシも昔は単生木としては里山にも多く見られました。

しかし、戦前戦後、たきぎや木炭用、また建築材(特に敷居用)として珍重され、伐採を続けたため激減しました。このように群生している所は珍しく、九州では大分、熊本の群生林よりも優れているといわれます。

イチイガシの森は大村地方での自然な森の姿を残している場所といえます。

(大村市教育委員会「大村市の文化財」より)

令和4年度 社会教育課重点目標



1 家庭教育の充実と青少年の健全育成

- (1) 健全協や関係団体と連携して「ココロねっこ運動」を推進する。
- (2) 子ども会や婦人会など社会教育関係団体への支援を積極的に行う。
- (3) 地域の多様な人材の参画を得て、放課後子ども教室及び OMURA 未来塾の充実を図る。
- (4) コミュニティ・スクールと連携・協働して活動する「地域学校協働本部」の整備を積極的に支援する。
- (5) 関係機関との連携を図り、子どもの安全で安心な環境を確保する。



2 生涯学習の充実と人権教育の推進

- (1) 多様な学習ニーズに対応した魅力ある学習プログラムを企画し、多くの市民により良い生涯学習の場を提供する。
- (2) 定例利用グループへの加入促進を図り、生涯学習を推進する。
- (3) あらゆる世代が「つどい」「まなび」「つながる」施設として、公民館のサービス充実に努める。
- (4) 互いの人権を尊重し、あらゆる差別のない社会を目指すため、関係団体等と連携して人権教育を推進する。



3 社会教育施設の整備

- (1) 利用者の利便性の観点から、老朽化が著しい「西大村地区コミュニティセンター」のトイレの改修を行う。

社会教育課は、様々な取組をとおして、充実した地域社会の実現を目指します。



「空きかん等回収キャンペーン」が実施されました。

6月5日は、環境の日(6月は環境月間)です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。日本では「環境基本法」(平成5年)が「環境の日」を定めています。

「環境基本法」は、事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるとい「環境の日」の趣旨を明らかにし、国、地方公共団体等において、この趣旨にふさわしい各種の行事等を実施することとしています。(環境省 HP より抜粋)

大村市でも、6月12日(日)に中央会場3カ所を設定し、空き缶などの回収が行われました。



※町のごみゼロが、「海ごみゼロ」に繋がります。

【子ども科学館教室】 フラットおおむら5F

- 2日(土) 10:00～ ⇒折り紙教室
- 3日(日) 10:00～ ⇒木工教室
- 9日(土) 10:00～ ⇒星空教室
- 10日(日) 10:00～ ⇒科学講座
- 16日(土) 10:00～ ⇒竹細工教室
- 17日(日) 10:00～ ⇒バルーンアート教室
- 23日(土) 14:00～ ⇒科学工作教室
- 24日(日) 10:00～ ⇒子ども映画会



問合せ:社会教育課 ☎53-4111

(内線84-154)

7月の補導巡視活動(大村地区)		☆巡回活動ありがとうございます☆	
地区名	集合場所	日程	時刻
大村	市民交流プラザ	7月8日(金)	18:30
	イオン大村店	7月22日(金)	
三城	市民交流プラザ	7月9日(土)・23日(土)	19:00
旭が丘・東大村	コレモ前	7月7日(木)・21日(木)	18:30



発行:社会教育課
☎53-4111
(内線84-155)